| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 講義名 | ソーシャルワーク総論Ⅰ | | | | |
| 科目区分 | 学部専門科目 | | | | |
| 担当教員 | 加藤　曜子 | | | | |
| 開講期・曜日・時限 | 前期 火曜日 ２時限 | | | | |
| | 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科／2014年度 サービス産業学部 観光学科／2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科／<br>2013年度 サービス産業学部 観光学科／2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科／2012年度 サービス産業学部 観光学科／<br>2011年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科／2011年度 サービス産業学部 観光学科 | | | | |
| 履修開始年次 | １年生 | 単位数 | 2 | 講義コード | 22056 |

## 主題と概要

社会福祉士の役割について理解をする

相談援助の概念と範囲を理解する

相談援助の理念を理解する

## 到達目標

ソーシャルワークは、あらゆる生活に場面で活躍できる仕事である。病院、学校、職業、市町村
児童相談所、司法分野などについて関心を高め、その理念と役割について深く理解をする

## 提出課題

その都度課題を提供し、授業を通じて実践します。

## 評価の基準

授業への出席、授業態度、レポート、期末試験などを総合的に評価します

## 履修にあたっての注意・助言他

出席は必須である。また授業への積極的関与は必須です

## 教科書

.使用なし.

## プリント資料及び参考文献

必要に応じたプリントを配布します

## 授業計画

1.社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義ーソーシャルワークの概要
2.現代社会と地位い社会ー福祉問題とソーシャルワーク（対人援助、グループワーク、）
3.ソーシャルワーク・相談援助の概念
4.ソーシャルワークの構成要素を理解する
5.相談援助の理念①　　ソーシャルワークの価値
6.相談援助の理念②　　権利擁護、利用者自己決定
7.相談援助の理念③　　エンパワメント、自立
8.相談援助の理念④　　ノーマリゼーション
9.専門職の倫理①　　ジレンマ
10.専門職の倫理②　　倫理綱領
11.　ソーシャルワークの形成過程①
12.　ソーシャルワークの形成過程②
13.　ソーシャルワークの形成過程③
14.　ソーシャルワークの形成過程④
15.　総括

## 予習・復習

予習、復習については授業にて提示をする

## 備考